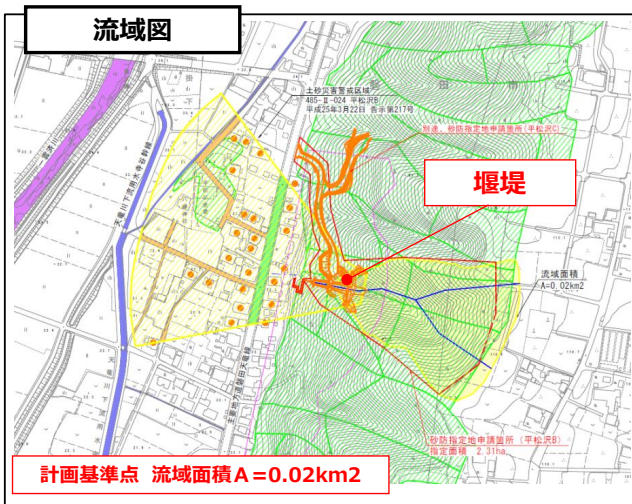
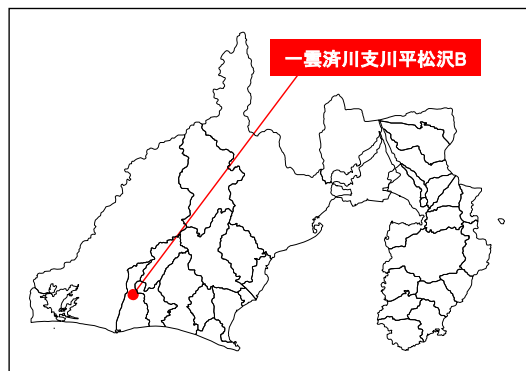


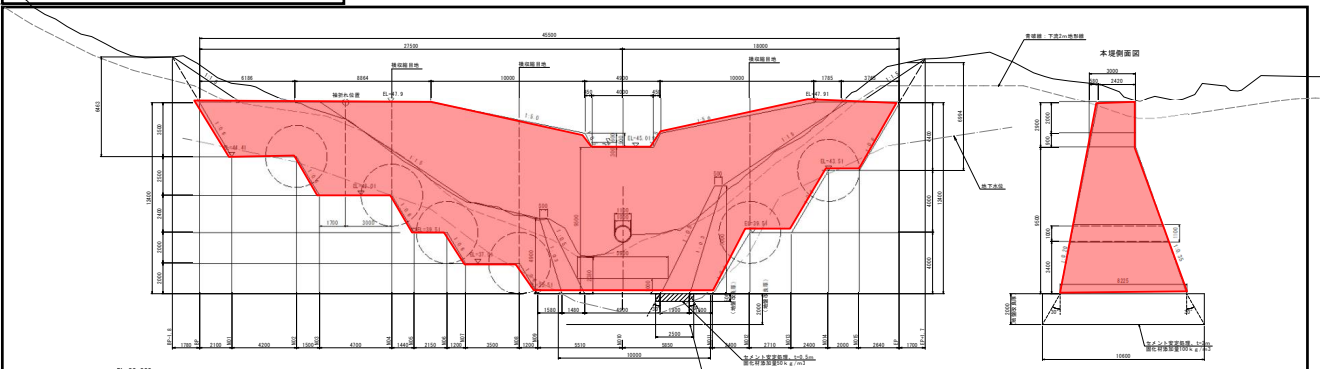
番号	11	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																																		
事業名	大規模特定砂防等事業				事業主体	静岡県																																			
ふりがな	いちうんさいがわしせんひらまつさわ				関係市町	磐田市																																			
箇所名	一雲済川支川平松沢B																																								
事業採択年度	令和4年度		計画期間	令和4年度～令和10年度																																					
用地着手年度	令和6年度		工事着手年度	令和7年度																																					
再評価理由※	事業採択後5年経過																																								
全体事業費	百万円 298	投資状況 (百万円)	～R6年度 72	R7年度 86	R8年度見込 50	計 208																																			
事業概要	(1)事業目的 平松沢Bは静岡県の南西部に位置し、保全対象として人家24戸、県道磐田天竜線（第1次緊急輸送路）を含む土石流危険渓流である。当渓流は、渓床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。 (2)事業内容 砂防堰堤工 1 基																																								
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、磐田市においても事業に対する地元の期待は大きい。 ・被害想定区域を含む地区住民にアンケートを実施したところ、回答者24世帯のうち、23世帯が「砂防事業を進めていく必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望も強い。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和8年度時点） <table><tr><td>B/C（i=4%）</td><td>参考：B/C（i=2%）</td><td>参考：B/C（i=1%）</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>10.1</td><td>16.3</td><td>21.4</td><td>23.3%</td></tr></table> ・総便益（B） 27.2億円（平均便益：1.5億円） ・総費用（C） 2.7億円（建設費：2.5億円、維持管理費：0.2億円、用地残存価値：0.1億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） ・土石流による甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況（令和8年度見込み） <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>69.8%</td><td colspan="2">（ 208 百万円 / 298 百万円 ）</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>砂防堰堤工</td><td>69.8%</td><td colspan="2">（ 7 m / 10 m ）</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">（ m / m ）</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">（ 5,152 m² / 5,152 m² ）</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C（i=4%）	参考：B/C（i=2%）	参考：B/C（i=1%）	EIRR	10.1	16.3	21.4	23.3%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		69.8%	（ 208 百万円 / 298 百万円 ）		事業量	砂防堰堤工	69.8%	（ 7 m / 10 m ）				（ m / m ）		用地取得		100.0%	（ 5,152 m ² / 5,152 m ² ）		評価	継続が妥当
B/C（i=4%）	参考：B/C（i=2%）	参考：B/C（i=1%）	EIRR																																						
10.1	16.3	21.4	23.3%																																						
区 分		進捗率	内 訳																																						
事業費		69.8%	（ 208 百万円 / 298 百万円 ）																																						
事業量	砂防堰堤工	69.8%	（ 7 m / 10 m ）																																						
			（ m / m ）																																						
用地取得		100.0%	（ 5,152 m ² / 5,152 m ² ）																																						
評価	継続が妥当																																								
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 未相続の用地補償に不測の日時を要したが、令和6年度に用地買収が完了したため、令和7年度から工事に着手し、令和8年度から本堤工の施工に着手する予定である。 地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和10年度完成を目指す。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																																
評価	継続が妥当																																								
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 残存型枠を採用可能な堰堤本体工等の構造物に対して採用することや、活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト削減と工期短縮を図っていく。																																								
対応方針（案）	(1)対応方針（案） 本事業を【 継続 】する。 (2)理由 事業は順調に推移しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。																																								

1. 位置図



2. 事業概要

正面図・側面図



事業目的

平松沢Bは静岡県の南西部に位置し、保全対象として人家24戸、県道磐田天竜線(第1次緊急輸送路)を含む土石流危険渓流である。当渓流は、溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

事業内容

- ・渓流名 : 一雲済川支川平松沢B
- ・計画期間: R4~R10
- ・事業費 : C=298百万円
- ・事業量 : 砂防堰堤工 1基
堰堤(不透過型)高さ9.5m、堤長45.5m
計画捕捉量1,640m³

荒廃状況



周辺状況



3. 平松沢Bの事業概要

前回からの変更点・理由

	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R10 (+2年)	・未相続地の用地補償に不測の日時を要したため。
②全体事業費	140百万円	298百万円 (+158)	・現地詳細測量を行ったところ、堰堤高が高くなり、管理用道路の構造物が必要となったことから、増額したため。

4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 27.2億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
 - ・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用 (C)

総費用 2.7億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):10.1 経済的内部収益率(EIRR):23.3%

前回の費用対効果(B/C):8.6

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト縮減と工期短縮を図っていく。